

# 結婚・出産後に社会復帰を目指す女性のための

## CAD 技能習得プログラムの実施報告

○渡部 守義, 鍋島 康之, 檀 和秀 (明石高専 都市システム工学科)

キーワード：女性, 社会復帰, CAD

### 1. はじめに

「平成 19 年度版働く女性の実情(雇用均等・児童家庭局雇用均等政策課編,厚生労働省,2008.)」によると、わが国における女性の年齢階級別労働力率は明かな M 字カーブを示しており、30～34 歳を M 字型の底として減少する傾向を示している。また、職場における女性の正規職員・従業員の割合は平成 19 年で 46.5%と低く、一度社会から離れた女性が正規雇用の職を得て社会復帰するには厳しい社会情勢がある。

このような社会的背景をもとに、明石工業高等専門学校では「結婚・出産後に社会復帰を目指す女性のための CAD 技能講習」を企画し、平成 19 年度社会人学び直しニーズ対応教育推進事業(文部科学省)の採択を受けて女性を対象とした CAD 技能講習を実施した。

### 2. CAD 技能講習の内容

CAD 技能講習では技術レベル毎に「初心者コース」と「経験者コース」に分けて講習を実施した。

#### 2.1 初心者コース

初心者コースはこれまでに CAD を操作した経験はないが CAD 技能を習得して社会復帰を目指す女性に対するコースとして位置づけ、1.5 時間×15 回の中に CAD の基本的な知識や機能に関する講義と CAD 操作の実習を併せた内容とした。本コースは定員 5 名に対して 17 名の応募があり、8 名の受講生を受け入れた。

#### 2.2 経験者コース

経験者コースは CAD 技能の再習得やスキルアップを目指したコースと位置づけ、3 時間×7 回、1.5 回×1 回の実習をおこない、特に CAD 製図の質的向上や作図に要する時間の短縮のために必要な操作技術に重点をおいた内容とした。本コースは定員 5 名に対して 12 名の応募があり、5 名の受講生を受け入れた。

#### 2.3 実施体制

講師は、各コースとも学外の CAD 専門の女性講師に依頼した。実施にあたり施設のサポートとして都市システム工学科教員 1 名とティーチング・アシスタントとして本校専攻科生 2 名を配置した。

実施場所は、明石高専都市システム工学科のコンピュータ室を利用し、平成 19 年 10 月から平成 20 年 3 月の期間中の土曜日に実施した。

### 3. おわりに

本プログラム終了後に受講生に対してアンケート調査を実施した。本プログラムへの応募動機は、図 1 に示すように初心者コースでは「フルタイムの職業への就職」、経験者コースでは「CAD 技能向上のため」と答えた回答が多かった。この結果は本プログラムの趣旨と合致しており、本校が意図した受講生が集まったことがわかる。また、CAD 利用技術者試験(1 級・2 級)の受験をするかどうか設問に対して、全員が「直ぐ受験する」あるいは「1 年以内に受験する」と回答していることから、社会復帰に向けての動機付けとして本プログラムは十分に機能していることが確認できた。

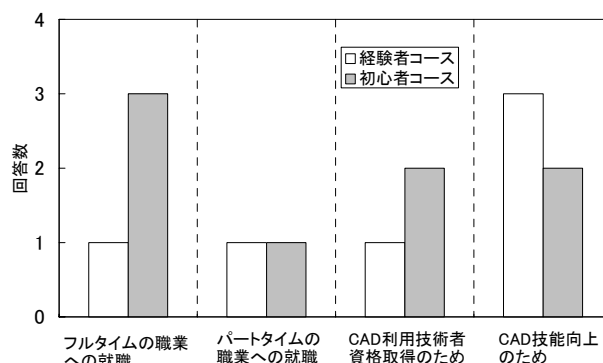


図 1 アンケート結果 (応募動機に対する設問)

平成 19 年度に実施した CAD 技能講習プログラムは準備期間が短かったために、十分な事前検討が出来ずに試行錯誤しながらプログラムを実施した。プログラム終了後の懇談会では、概ね満足したという評価を受けたものの、数々のご指摘を受けた。次年度以降のプログラムでは、受講生の指摘事項の改善を図っていく予定である。

また、受講者の希望もあり 4 月にも補充講座を実施した。修了生に対しては、今後とも、上記 CAD 利用技術者試験へのチャレンジや再就職についても可能な限り支援を続けていきたいと考えている。

お問合せ先

氏名：だん かずひで (都市システム工学科学科長)

連絡先電話番号：078-946-6171

電子メールアドレス：dan@akashi.ac.jp